

風刺漫画家・那須良輔と 湯前まんが美術館

地域おこし協力隊
中尾章太郎・高橋颯希

目次

1. 湯前まんが美術館と地域おこし協力隊について
2. 政治風刺漫画家・那須良輔の魅力
3. 「マンガかるた」で楽しく学ぼう！

自己紹介①

中尾 章太郎 (なかお しょうたろう)



- 福岡・大牟田市出身 27歳
- 熊本でマンガの研究をしていました
- 2022年3月～ 湯前町在住
- 最近ハマっているマンガ
ニユクスの角灯

自己紹介② 高橋 颯希 (たかはし さつき)

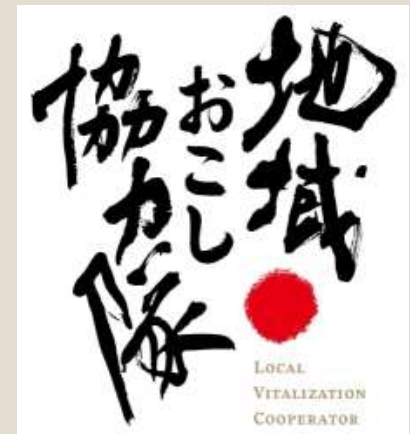


- 神奈川・横浜市出身 29歳
- テレビ局・美術会社で働いていました
- 2022年4月～ 湯前町在住
- 最近ハマっているマンガ
月出づる街の人々

「地域おこし協力隊」とは？

- 総務省の取り組み
- 人口が少ない / 高齢者が多い地域へ若者が移住

地域に来る人・住む人を増やす
= 「地域おこし」



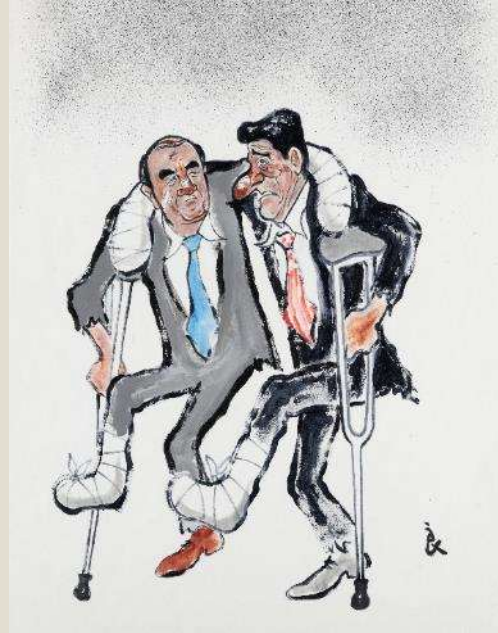


- 活動期間は1年以上～3年以下
- 協力隊の活動経費などは特別交付税措置
- 隊員数は約6500人、男女比 6 : 4
- 20～30代が約7割

地域おこし協力隊 隊員数の推移



総務省「令和4年度 地域おこし協力隊の隊員数等について」より作成



湯前まんが美術館

- 1992年(平成4年)11月、湯前町出身の政治風刺漫画家・那須良輔の功績を保存・展示する施設として開館。
- 近年は広くマンガやアニメ関係の特別展も企画・開催。



那須良輔
【1913-1989】

那須良輔

【1913-1989】



那須良輔の人生をマンガ化！
『那須良輔物語 風を描く人』
(制作：(株)COLT)

大正2（1913）年、湯前村（現・湯前町）生まれ。画家を目指して上京後、太平洋美術学校（現：太平洋美術会研究所）に通いながらマンガを描き出します。

昭和8（1933）年に少年向けマンガ雑誌でデビュー。昭和15（1940）年頃から風刺漫画の世界に入り、毎日新聞の専属風刺漫画家として活躍。数万点におよぶ作品を発表しました。

現在、湯前まんが美術館には、**7,184点の原画作品**を収蔵しています。

那須良輔の来歴

1913-1933年

那須良輔は、1913年、熊本県球磨郡湯前村(現・湯前町)に生まれました。自伝『漫画家生活50年』や随筆(熊本日日新聞「一筆啓上」)によれば、幼い頃より幸野溝、球磨川、市房山など、湯前村・人吉球磨地域の豊かな自然に親しみ、**天真爛漫な少年時代**を送ったといます。身近な野鳥や馬を地面に描いて遊んでいるうちに絵心が育まれ、1932年、19歳で洋画家になる夢を持って**太平洋美術学校(現・太平洋美術会研究所)**に進学。農家の長男であったため、半ば勘当されるような形で進学しましたが、生活に困窮した際には両親から米の仕送りを受けたこともありました。その後、内職のつもりで始めた子ども向け漫画や新聞漫画の世界で成功。特に、実業之日本社『日本少年』で連載した**「わが輩はのみである」(1933年)**は人気を博し、ビクターレコードからレコードも発売されました。



那須良輔の来歴

1934-1945年

漫画家として順風満帆な生活を送っていた良輔でしたが、日中戦争開戦後状況は一変。1937年（当時24歳）には、良輔自身、兵士として第一回目の召集を受けます。しかし、この時は戦地へ向かう途中で病に倒れ、召集解除となりました。同年、漫画家として活動していた実業之日本社から従軍記者として中国に派遣されます。翌1938年、二回目の召集を受け、中国武漢攻略戦に参加。良輔が所属していた百六師団松浦部隊は、泥沼の武漢戦線で10万人の大軍に包囲され、戦地は「地獄谷」という名前で呼ばれました。

「兵隊も馬も泥細工の様になり、外套は鎧を着たように重くなった。新しい軍靴は一週間で底がぬけて地下足袋にはきかえたが身につけた装備が重いためにつるつるとすべってかえって苦労は倍加した。重い武器・弾薬・食糧を背負った馬は腹まで沈む泥濘に足をとられてバタバタと倒れはじめる。倒れた馬の背から荷を下して鞍下毛布をはがすと、穴のあいた鞍傷からは臭い膿が吹き出していた。」（那須良輔『漫画家生活50年』、15ページ）

那須良輔の来歴

1934-1945年



「埋葬」、「泥濘」ともに戦地を描いた作品

那須良輔の来歴

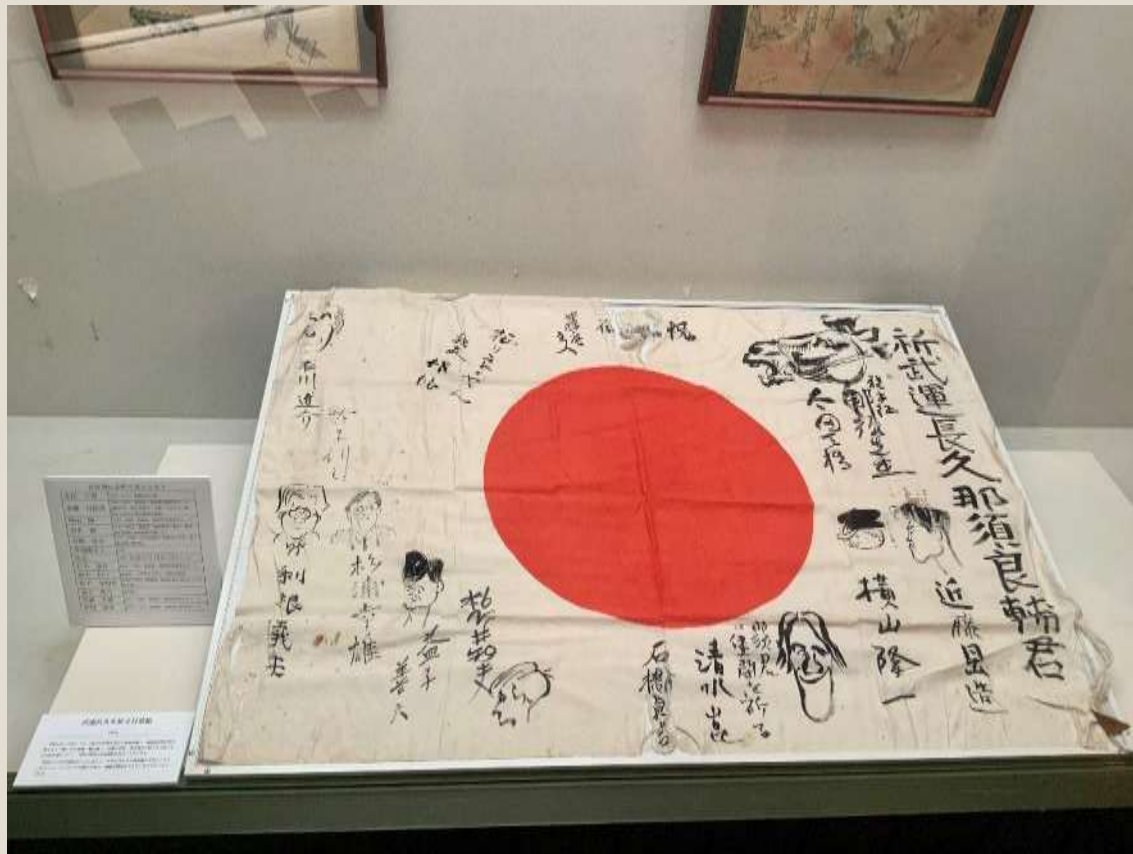
1934-1945年

「食糧不足と敵の攻撃で戦友達は毎日倒れていった。この次は自分の番だ。早く弾が当ればいい、と自棄と諦めの心境になった。その夕方大きな月が山の端に登った。十三夜の月であった。懐かしい月であった。月を見ながら熊本の郷里を想い、両親や兄弟・村人達のことを思い出して涙が溢れ出した。同時にどうしてこんな中国の山村の田圃の中で死なねばならぬのか、と今度は悔しい涙が溢れ出た。……（中略）……約三週間の戦いで我にかえった時、三百名の中隊が、たった**十六名の生存者**であった。松浦師団はほとんど全滅に近かったのである。」（同、17ページ）

その後召集解除となりますが、1941年、良輔は**三度目の召集**を受けます。

「私は思わず大声で、「バカタレ」と叫んだ。召集令状は公平に配達されるものと思い、国のために戦うのだと信じていたが、政府高官の子弟は徴集のがれができたことを知ったのである。……（中略）……生れて来る子供の為にも唯生きて帰ることだけを心に誓い、男女の子供の名前を書き残して三たび戦場へと立った。」（同、24ページ）

那須良輔の来歴 1934-1945年



三度目の召集時、漫画家仲間から贈られた日章旗（いわゆる出征旗）

那須良輔の来歴

1934-1945年



1942年頃、戦地から家族にあてて書いた手紙。現地での生活や、生まれてきた娘（良輔はまだ顔を見たことがなかった）を想う言葉が記されている。

那須良輔の来歴

1945-1989年

1945年8月15日、日本はポツダム宣言を受諾し、終戦。良輔は戦後しばらくは疎開先の湯前で生活していました。この時、熊本日日新聞に「Pちゃん」（4コマ漫画）を連載するなど、漫画の仕事をすでに再開していたことがわかっています。1949年、「漫画集団」（現在の日本漫画家協会の前身となった職能集団）の先輩、横山隆一の紹介で、毎日新聞社嘱託の風刺漫画家となり、連日毎日新聞紙面に痛烈な風刺漫画を発表。同時に、自身の戦争体験、政府への批判精神に裏打ちされた大作の風刺画も制作します。

また、政治風刺漫画家としての地位を確立し、漫画界の重鎮となってからは、当時良輔と同じく鎌倉に住んでいた文学者や文化人らと親しく交遊。特に、文芸評論家・小林秀雄との縁は深く、小林が亡くなる前の約10年間は、ほぼ毎週ゴルフに行き酒を酌み交わしたといえます。

1989年に没するまで、良輔は50年以上にわたる漫画家人生を休まず駆け抜けました。

那須良輔の来歴

1945-1989年



左から横山隆一、小林秀雄、湯前町城泉寺（浄心寺）で撮影された写真（1970年6月）
写真中央は里見弴（小説家）

地域おこし協力隊とまんが美術館

さまざまな形で
那須作品を周知



1. まんが美術館内外での展示(特別展、常設展、館外展覧会)を企画・制作・実施

2. イベント開催(マンガにまつわるワークショップ、マンガ家を講師にお招きしたトークイベントなど)

3. 美術館や湯前町のPR(SNS活用)

4. 所蔵資料の適切な保存・デジタルアーカイブ

など



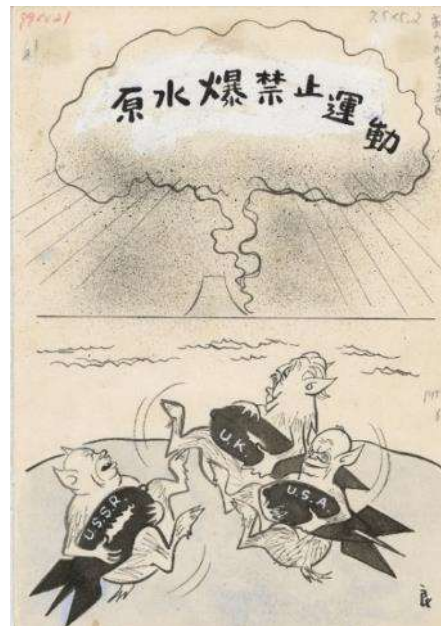
収蔵品紹介

①風刺漫画

毎日新聞連載の風刺漫画をはじめ、各メディアに掲載された政治風刺漫画を多数収蔵。

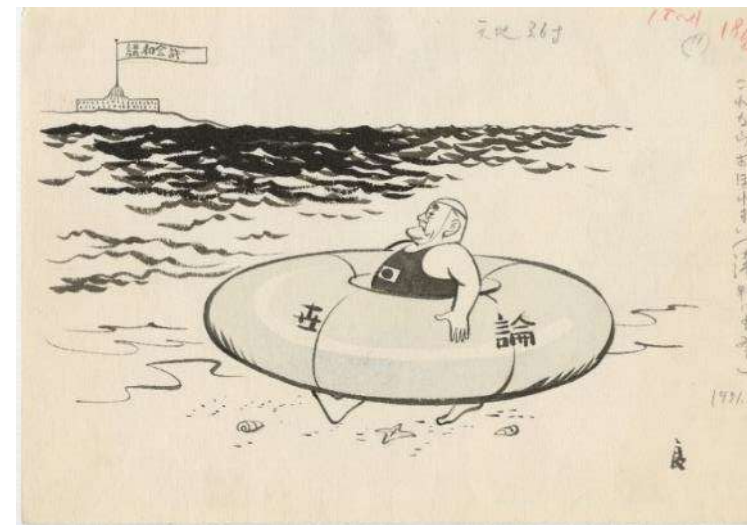
那須自身の風刺漫画家としてのキャリアが約50年に及ぶ（1940-1989）ため、戦争、環境問題、国内政争など多様なテーマの作品が残る。

「赤い人工衛星打上げ」



「おろかなる文明」

「きたない公約」



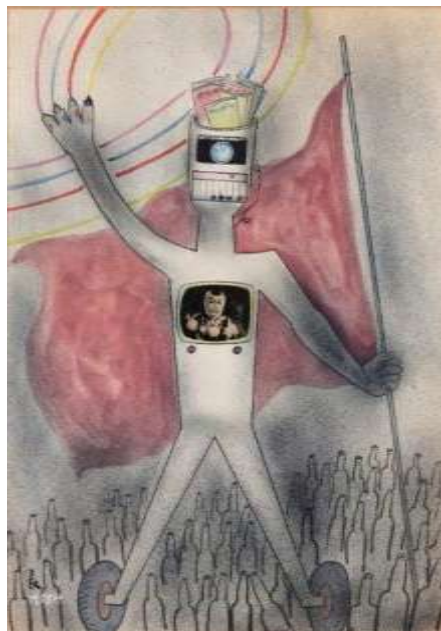
「これならおぼれまい」

②風刺画

新聞掲載のマンガとは別に、個展の開催などに合わせて描かれた風刺画。

メッセージ性が強い大作の絵画作品。

「へそのない人間」



「ロン・ヤス」



「麻雀」

③ 似顔絵・人物画

時の政治家や文化人をコミカルに、シニカルに描いた似顔絵。

ケネディ



吉田茂



毛沢東



大佛次郎



小林秀雄



川端康成



④風景画・ 動植物画など

風刺漫画とは異なる柔らかな筆遣いで描かれた風景画や、どこかユーモラスな味わいのある生き物たち。

「むつごろう」



「球磨川下り」



「餅焼」

⑤写真資料

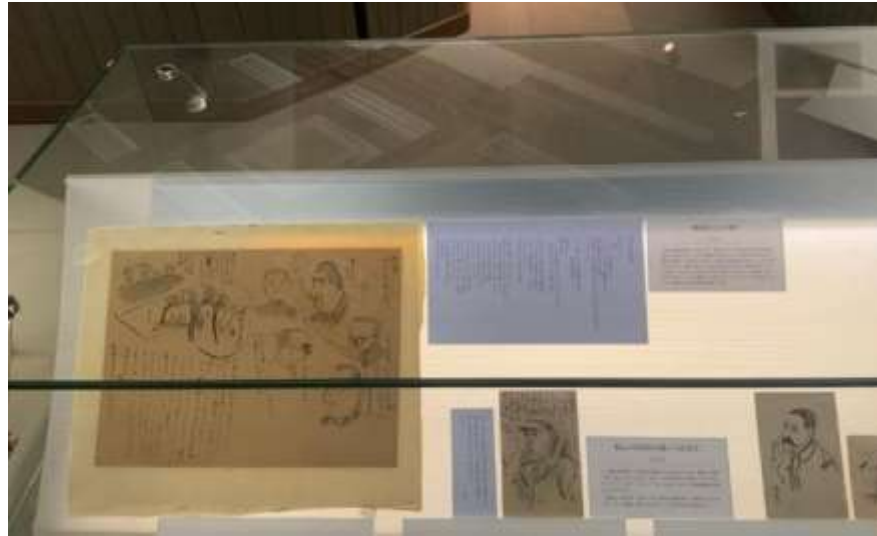
少年時代の写真から、
日中戦争出征時の写真、
マンガ家として成功した
後小林秀雄ら友人と
ともに撮った写真など
多数収蔵。



⑥ 関連資料

作品のほかにも、遺品、戦地から家族へ宛てた手紙などを収蔵。

常設展示室には那須が鎌倉の自宅で使用していた書斎を再現し、机や椅子、画材など本人が使用していたものを間近に見られるようになっています。



まんが美術館的那須良輔展

湯前まんが美術館
YUNOMAE MANGA MUSEUM

湯前まんが美術館開館三十周年記念



那須良輔
『風を描く人』展
2022.10.15-2023.1.9
(12.28-1.3休館)

湯前まんが美術館
-那須良輔記念館-
熊本県唐津郡湯前町1834-1
TEL 0966-43-2050
FAX 0966-43-3373
<https://yunomae-manga.com/>

開館時間 9:30-17:00
入館料 高校生以上300(210)円
小中学生100(70)円
※()内は20名以上の団体料金

マンガ
那須良輔物語 風を描く人
資料公開中!



【那須良輔『風を描く人』展】

2022.10.15-2023.1.9

- 少年時代～晩年までの那須良輔の人生と作品を、マンガ『-那須良輔物語-風を描く人』に沿って展示。
- 各年代の那須良輔の写真も公開。



まんが美術館的那須良輔展



【那須良輔「わが酒中交遊記」】

2023.4.15-2023.6.11

- 那須良輔の生前の文化人との交流（小林秀雄、大佛次郎など）を、作品や文章から読み解く展示。
- 良輔の生誕100周年を記念して漫画家仲間たちから贈られた色紙を展示。



令和4年度～現在までに
計9の那須展を館内開催

「出前まんが美術館」(館外展覧会)

館内での展示に加えて、

当館に収蔵されているさまざまな那須良輔作品・資料を、他館に**展示会として**
そのまま持ち込み可能なパッケージ化



「出前まんが美術館」！

県内外の美術館、画廊、展示場などで“那須良輔展”を開催し、多くの方に那須良輔の作品を知ってもらうのが目標。

「出前まんが美術館」(館外展覧会)

- 作品には時代背景や成立事情を詳しく解説したキャプションが付き、ご要望に応じて解説員(学芸員、地域おこし協力隊員)を派遣。
- まんが美術館で過去に開催した那須良輔展を「巡回展」として移送することもできます。



(実施例) 出前まんが美術館【くま博2022】 (アミュひろば 2022/10/8)



熊本県内の自治体PRイベント
湯前町と湯前まんが美術館のPR+大作の風刺画（複製）展示

(実施例) 出前まんが美術館【くま博2022】(アミュひろば 2022/10/8)



風刺画の展示には詳細なキャプションを付記
イベントポスター展示・チラシ配布

(実施例) 出前まんが美術館【くま博2022】(アミュひろば 2022/10/8)



ご来場いただいた方に町と美術館の解説
グッズ(缶バッジ)無料配布!

(実施例) 出前まんが美術館【くま博2022】 (アミュひろば 2022/10/8)



ステージでイベント告知・那須良輔作品の紹介
湯前町地域おこし協力隊が協力してブースを盛り上げました

(実施例) 出前まんが美術館【那須良輔の文化紀行】 (肥後細川庭園「松聲閣」 2022/11/19-27)



那須良輔原画 2 2 点を、東京都文京区・肥後細川庭園「松聲閣」内
「山茶花」の間（和室）で展示
日本庭園の雰囲気にも合う文化的な作品を中心とした展示パッケージ

(実施例) 出前まんが美術館【那須良輔の文化紀行】 (肥後細川庭園「松聲閣」 2022/11/19-27)



庭園を見に来られた方が原画展にも関心を持たれ、9日間で来場者は**1539名**
原画だけでなく、昭和の有名人の「**似顔絵スタンディ**」展示を導入しました

(実施例) 出前まんが美術館【熊本が生んだ風刺漫画家 那須良輔展】・【おいでよ！湯前まんが美術館】
(熊本県民交流館パレア 10Fロビー 2023/1/30/-2/13
2023/8/21-9/5)

※複製原画展

生誕110周年

熊本が生んだ風刺漫画家

那須良輔展



「ハッピーニューイヤー」
那須良輔

開催期間 2023 1/30 月 ▶ 2/13 月

入場料 無料 開場時間 9:00~21:00 (30日は12:00~21:00 / 13日は9:00~12:00)

会場 くまもと県民交流館パレア 10階ロビー
熊本市中央区手取本町8番9号 テトリアくまもとビル

主催・お問い合わせ：湯前まんが美術館・那須良輔記念館
Tel:0966-43-2050 / yunomae-manga.com

出前まんが美術館 第4弾

おいでよ！ 湯前まんが美術館

2023.
8.21(mon)~9.5(tue)

9:00~21:00
(8.21 12:00~21:00 / 9.5 9:00~12:00)



くまもと県民交流館
パレア
10階ロビー

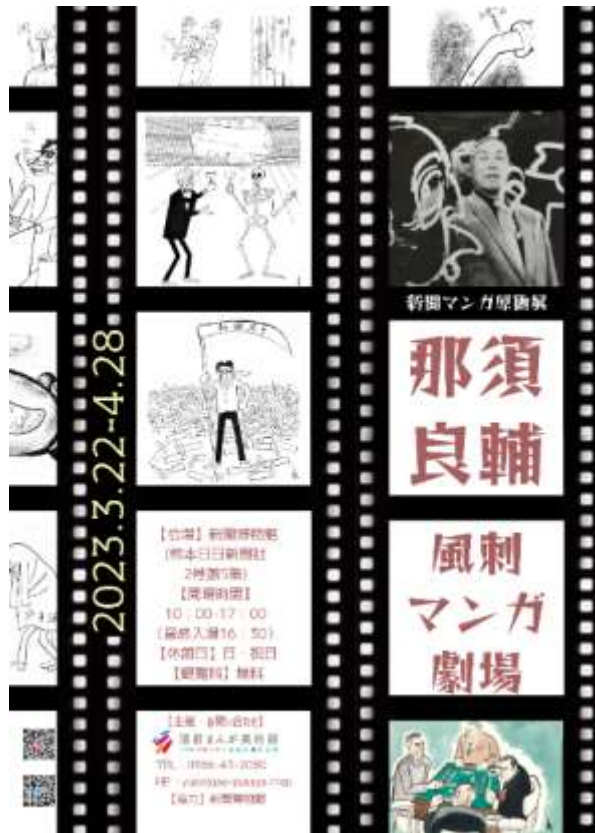
入場 無料

0966-43-2050
@yunomae_manga
@yunomae_manga
http://yunomae-manga.com



ビジネスパーソンや学生が多く行き来するロビーが会場
大作の風刺画から自然豊かな熊本の風景を描いた作品まで、郷土の偉人・那須良輔の魅力を
詰めこんだプチ展覧会を2度にわたり開催

(実施例) 出前まんが美術館【新聞マンガ原画展 那須良輔風刺漫画劇場】 (熊本日日新聞社「新聞博物館」 2023/3/22/-4/28)



「新聞博物館」（熊本市中央区・熊本日日新聞社本社内）との共催
那須良輔が描いた風刺漫画原画と、同館収蔵の貴重な紙面資料とのコラボ展示が実現！

(実施例) 出前まんが美術館【新聞マンガ原画展 那須良輔風刺漫画劇場】
(熊本日日新聞社「新聞博物館」2023/3/22/-4/28)



那須良輔の伝記マンガ『風を描く人』（2022,湯前町）や書籍資料、
初めて熊日新聞に掲載された那須の風刺漫画等も展示

(実施例) 出前まんが美術館【新聞マンガ原画展 那須良輔風刺漫画劇場】
(熊本日日新聞社「新聞博物館」2023/3/22/-4/28)



X



(例) グリコ・森永事件の報道×風刺漫画「オニさんこちら、手の鳴る方へ...」

(実施例) 出前まんが美術館【湯前まんが美術館in山都 那須良輔 作品展】

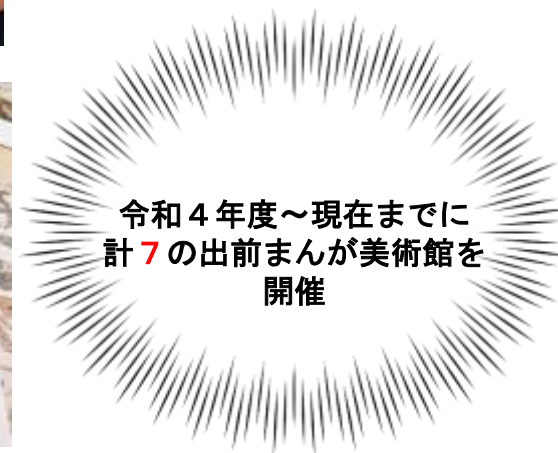
(熊本県上益城郡山都町「やまと文化の森」 2023/9/7/-10/1)



熊本県・山都町の文化交流施設「やまと文化の森」で実施
那須良輔作品のほか、「那須良輔風刺漫画大賞」歴代受賞作の傑作選、「ゆのまえ漫画フェスタ」で来町したマンガ家による直筆イラストなど、湯前まんが美術館のすべてがわかる展示
出前まんが美術館では過去最高の**2,900名（1日平均116名）**が来場！

(実施例) 出前まんが美術館【湯前まんが美術館in山都 那須良輔 作品展】

(熊本県上益城郡山都町「やまと文化の森」 2023/9/7/-10/1)



令和4年度～現在までに
計7の出前まんが美術館を
開催

展示期間中の9月17日(日)に美術館地域おこし協力隊2名によるワークショップを開催
那須作品の絵柄を活用したオリジナル缶バッジづくり・マンガかるた遊びを行いました

目次

1. 湯前まんが美術館と地域おこし協力隊について
2. 政治風刺漫画家・那須良輔の魅力
3. 「マンガかるた」で楽しく学ぼう！

突然ですが...
ここでクイズです！

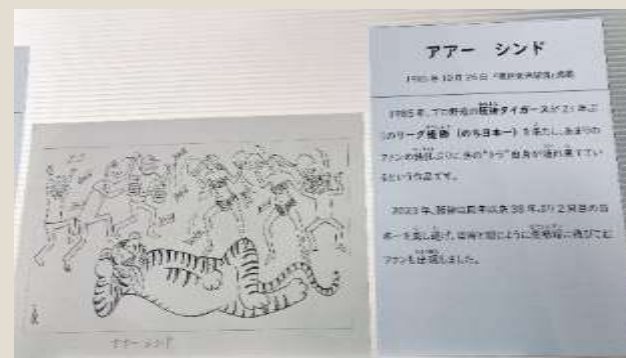
☆現在湯前まんが美術館で開催中の展示から、クイズ形式で那須良輔の作品を紹介していきます！



「りょうすけ干支展」

2023.12.16～4.7 湯前まんが美術館常設展示室

那須良輔が制作した風刺漫画や絵画等のうち、「十二支」の動物がモチーフになった作品を展示。また、令和5年度に新たに収集された資料を「新収蔵品特集」として初公開しています。



難易度・かんたん
★三択問題

Q : この男性は誰でしょう？



A 岸田文雄

B 田中角栄

C 吉田茂

1952年12月制作「知らぬはお馬ばかりなり」

Q : この男性は誰でしょう？

正解は..... C 吉田茂



⇒ アメリカのダレス国務長官が、ミサイルが入った箱とともに、日本の吉田茂首相に「再軍備」を迫っています。

戦後GHQにより非軍事化が進められていた日本ですが、朝鮮戦争の勃発にともない再軍備に方針が転換されます。1950年に設置された「警察予備隊」は、「保安隊」を経て1954年に「自衛隊」と名称が改められました。

日本国民が知らぬ間に軍事化が進められている様子を、目隠しをされた馬に例えて風刺しています。

1952年12月制作 『吉田から岸へ』 掲載 「知らぬはお馬ばかりなり」

Q : この男性は誰でしょう？



A 浅沼稻次郎

B 大平正芳

C 池田勇人

1980年 6月制作 「ご難！ ●●首相」

Q : この男性は誰でしょう？

正解は..... B 大平正芳



1980年 6月制作 「ご難！大平首相」

⇒ 1980年6月、当時の政局に大きな影響を与えた**大平正芳首相**の急死を“とかけのしっぽ切り”にたとえた作品です。

政権への不信感から、下馬評では不利になると見られていた自民党は、大平首相の“**吊い選挙**”という形になった衆参同日に大勝しました。有権者からの同情票が多く集まったことが選挙に影響したともいわれています。

Q : この男性は誰でしょう？



A ジョン・F・ケネディ

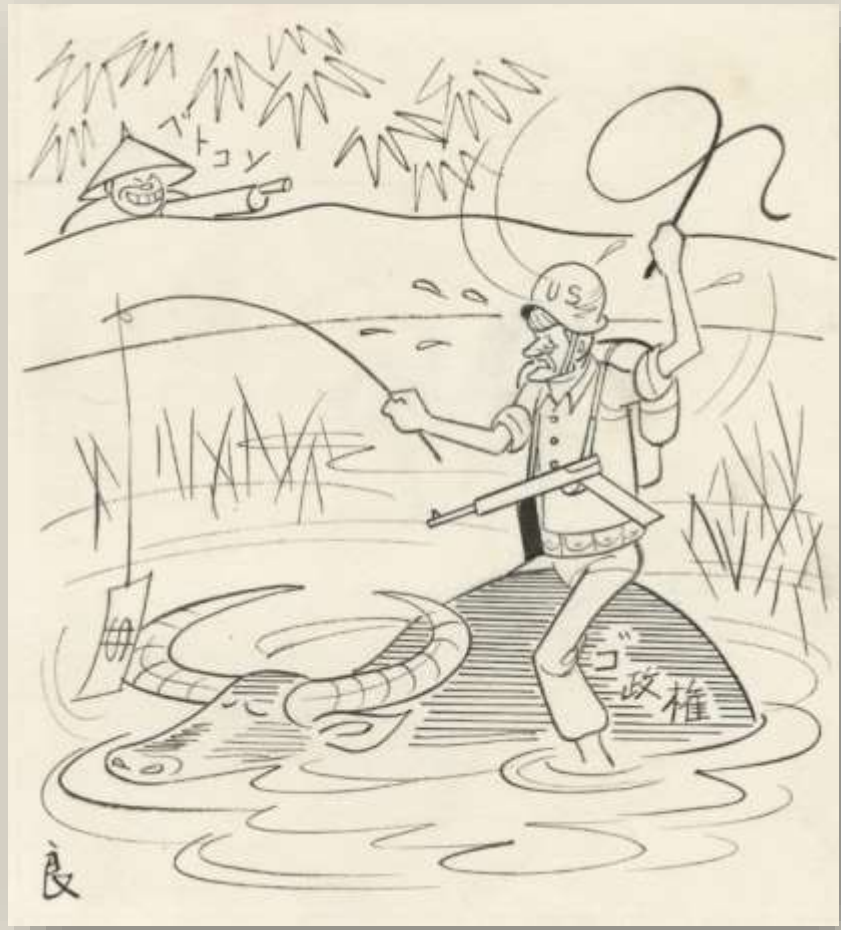
B ドナルド・トランプ

C マイケル・ジャクソン

1963年9月9日『毎日新聞（夕刊）』掲載
「ジレンマ」

Q : この男性は誰でしょう？

正解は..... A ジョン・F・ケネディ

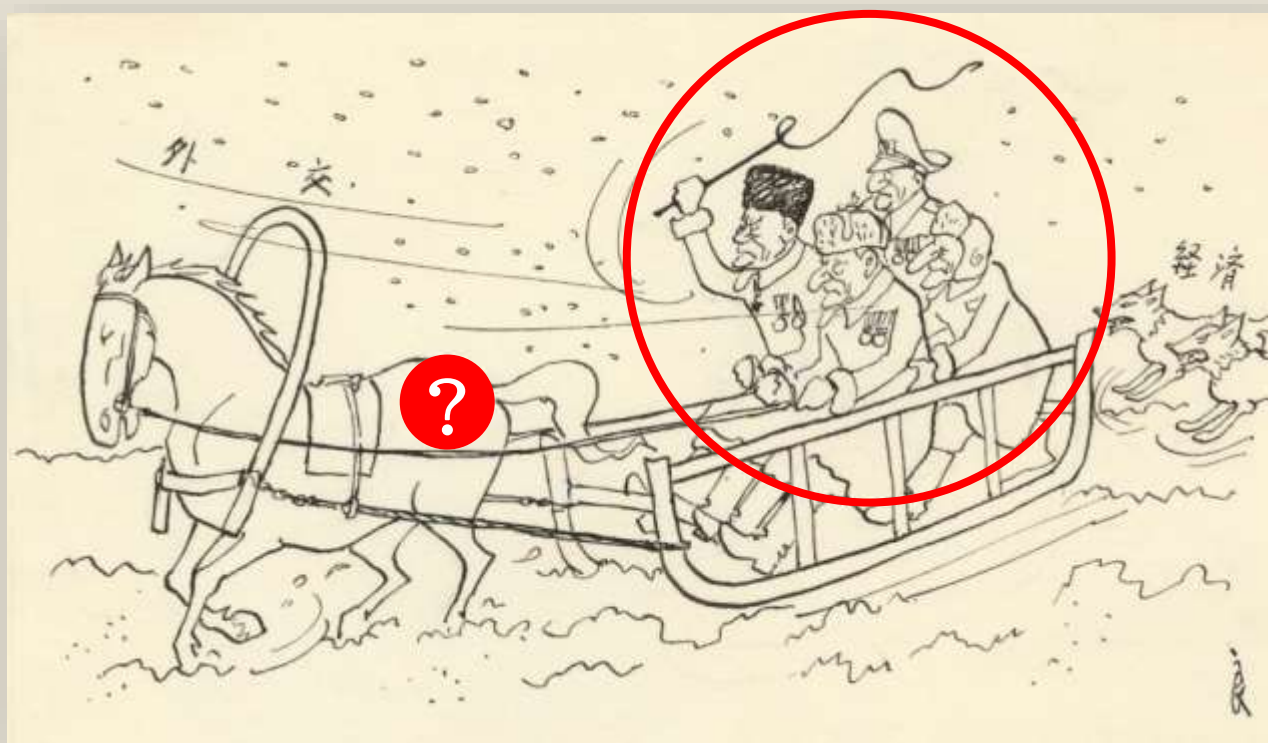


⇒アメリカのジョン・F・ケネディ大統領がお金（\$）をちらつかせて必死に水牛（＝当時南ベトナムを支配していたゴ・ディン・ジェム政権）を動かそうとしていますが、うまく進んでいないようです。そんなケネディ大統領を「ベトコン」（南ベトナム解放民族戦線）の兵士が狙っています。

当時、ゴ政権はアメリカからの軍事支援を受けつつもケネディと対立し、北ベトナムには苦戦を強いられており、そうした背景を「ジレンマ」として描いた作品です。

1963年9月9日『毎日新聞（夕刊）』掲載
「ジレンマ」

Q：この男性たちはどこの国を表現しているでしょう？



A アメリカ合衆国

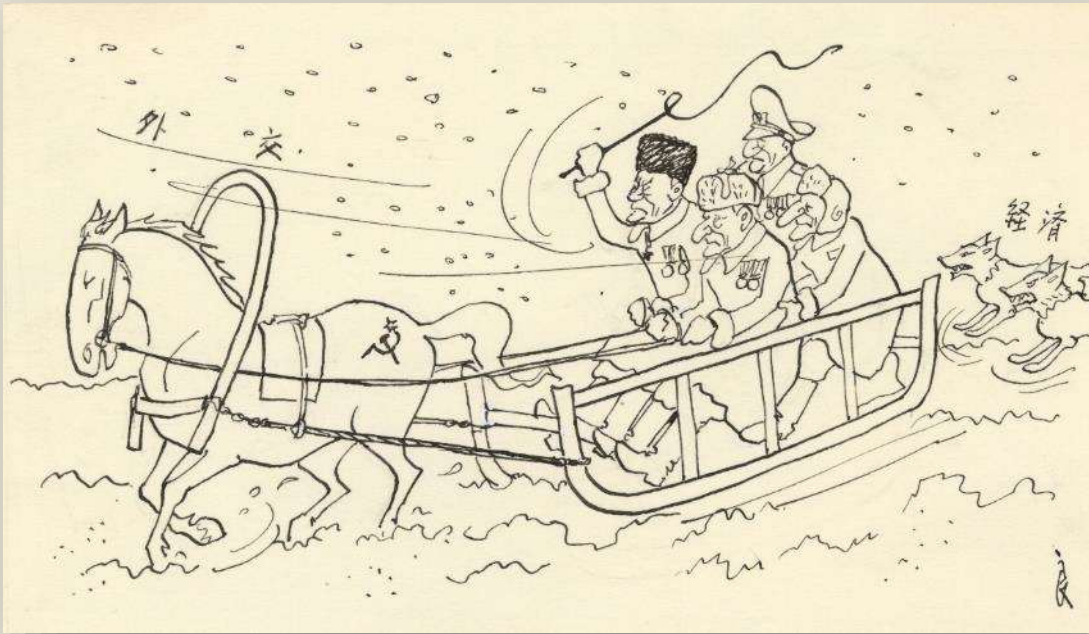
B ソビエト連邦

C 中国

1985年1月19日『週刊東洋経済』掲載 「老馭者と猛吹雪」

Q：この男性たちはどこの国を表現しているでしょう？

正解は..... B ソビエト連邦



⇒1960年代後半から80年代まで続いた**ブレジネフ政権**下でソ連の社会や経済は停滞し、改革を求める声が大きくなっていました。

ソ連の指導者は70歳を超える高齢な人物ばかりでしたが、この風刺マンガが掲載された2か月後、新たに書記長となった54歳の**ゴルバチョフ**により、一気に改革が進んでいきます。

1985年 1月19日 『週刊東洋経済』 掲載 「老馭者と猛吹雪」

難易度・やや難しい
★回答式

わかった方は手を挙げて
お答えください！

Q : この風刺漫画は何を表したものでしょう？



ヒント : 1985年

Q：この風刺漫画は何を表したものでしょう？

正解は.....



⇒1985年、プロ野球の**阪神タイガース**が21年ぶりの**リーグ優勝（のち日本一）**を果たし、あまりのファンの熱狂ぶりに当の“トラ”自身が疲れ果てているという作品です。2023年、阪神は同年以来**38年ぶり2回目の日本一**を成し遂げ、当時と同じように道頓堀に飛びこむファンも出現しました。

1985年10月26日 『週刊東洋経済』 掲載 「アアーシンド」



Q：この風刺漫画は「ある事件」をきっかけに衆議院が解散され、その後に実施された第31回衆議院議員総選挙をテーマにした風刺漫画です。

「ある事件」の名前をお答えください。

ヒント：1966年後半から起こった一連の事件

1967年1月3日『毎日新聞（朝刊）』掲載
「バケの皮をはがせ」

Q : 第31回総選挙実施のきっかけの「ある事件」とは？

正解は..... 「黒い霧事件」

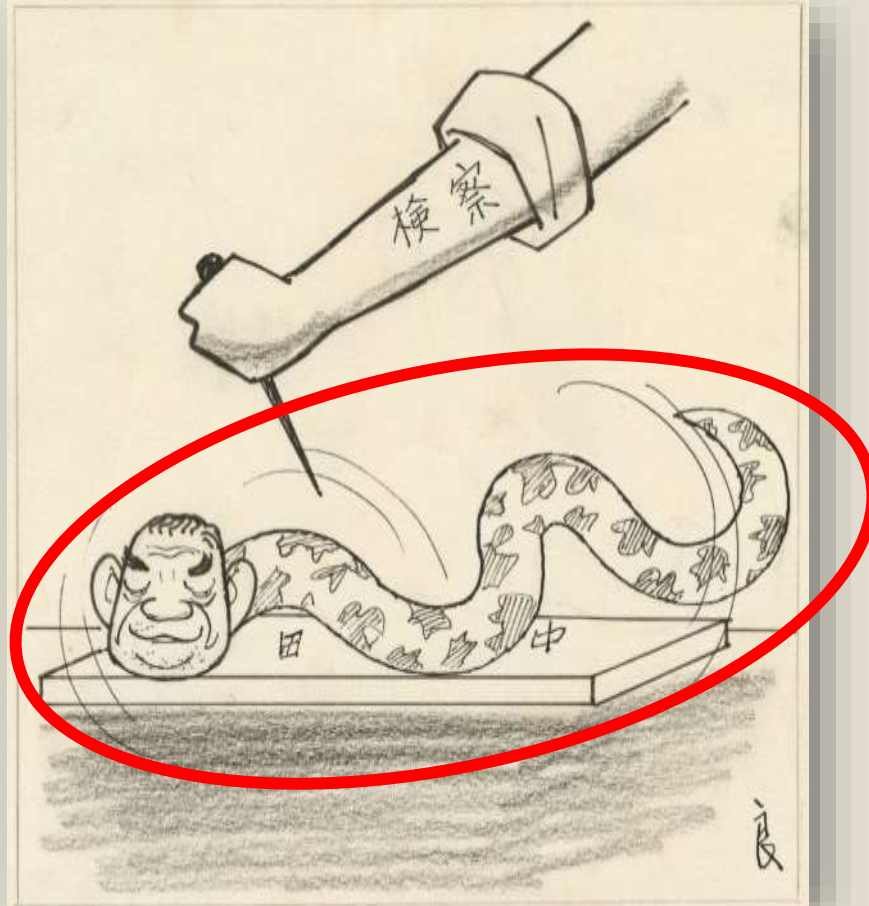


⇒1966年後半から自民党を中心に相次いで発覚した一連の不祥事、「黒い霧事件」。国民世論による批判の高まりを受け、佐藤栄作内閣は1966年12月に衆議院を解散させ（黒い霧解散）、翌1967年1月29日に第31回総選挙が実施されます。

甘い顔をした立候補者の本質を見極めるよう、有権者に呼び掛ける作品です。

1967年1月3日『毎日新聞（朝刊）』掲載「バケの皮をはがせ」

Q : この男性の名前を教えてください。



ヒント : 「黒い霧事件」に関連した人物

Q：この男性の名前を答えてください。

正解は..... 田中彰治



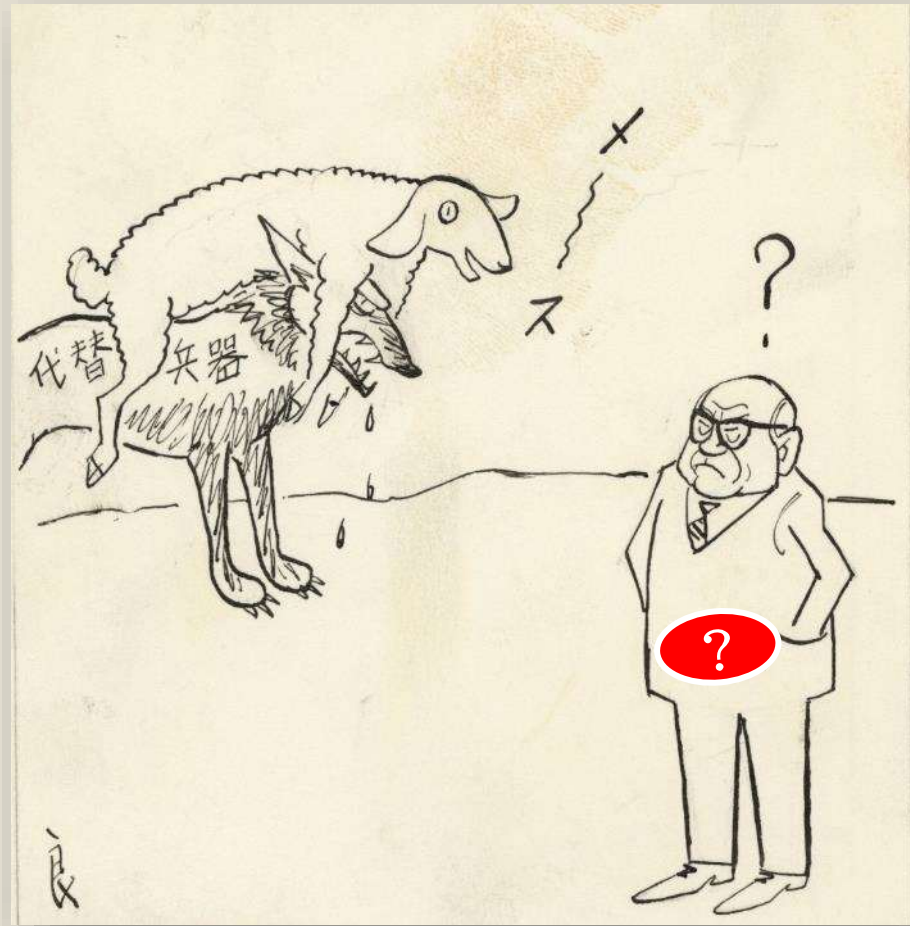
⇒ 「**検察**」が料理しようとしている食材は、大きなヘビ！？の姿をした**田中彰治**議員。

田中は同年8月5日に恐喝や詐欺などの容疑で逮捕され、自民党の不祥事「**黒い霧事件**」の中心的人物として知られています。政治家の腹黒さを、イカモノ（≡ゲテモノ）料理になぞらえて描いた風刺マンガです。

1966年 11月23日 『毎日新聞（夕刊）』 掲載 「イカモノ料理開店」

難易度・難しい！
★回答式

Q: **?** に入る地名は何でしょう？



1969年12月16日『毎日新聞（夕刊）』掲載 「怪しい」

Q : **?** に入る地名は何でしょう？

正解は..... 「沖縄」



⇒「メース」と鳴く羊をかぶったオオカミ（代替兵器）を見て、**沖縄県行政主席の屋良朝苗**が首をかしげています。

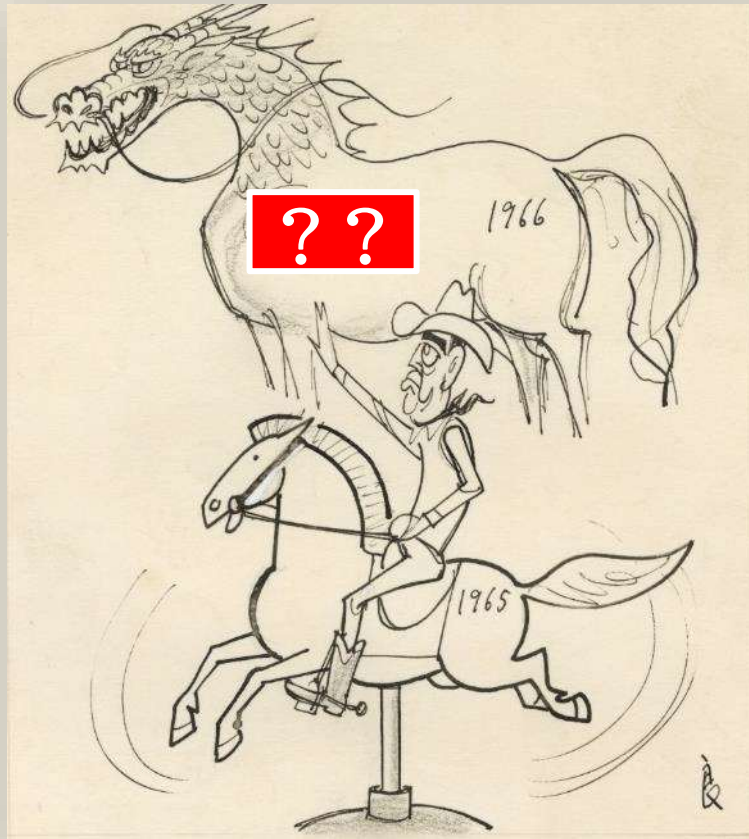
1969年11月、**日米首脳会談**で**佐藤栄作首相**は「**核抜き・本土並み**」の条件で**沖縄返還が合意**されたと宣言しました。しかし、当時の沖縄には「**メースB**」などの約1300発の核兵器が持ち込まれていた上、米軍基地には大量の毒ガス兵器が保管されていることが発覚したばかりでした。

「メースB」（羊）の皮の下にあるかもしれない、さらなる「代替兵器」の存在を怪しんでいる作品です。

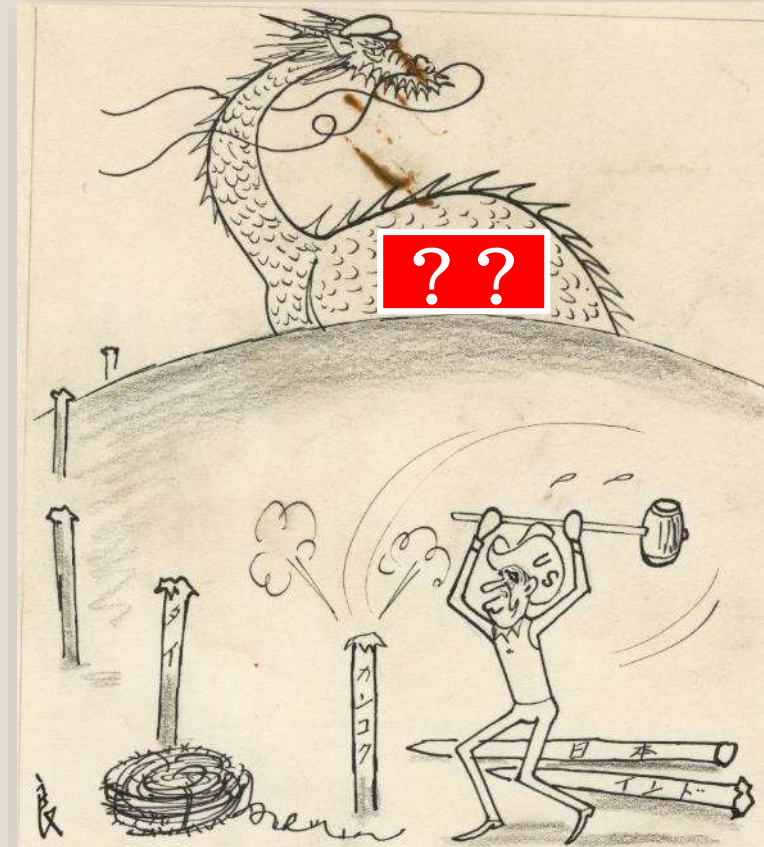
1969年 12月16日 『毎日新聞（夕刊）』 掲載 「怪しい」

Q : **??** に入る文字は何でしょう？

ヒント : 1921年に成立



1966年 1月 4日『毎日新聞（夕刊）』掲載
「すごい馬が待っている」



1966年 2月18日『毎日新聞（夕刊）』掲載
「クイが足りるか？」

Q : **??** に入る文字は何でしょう？

正解は..... 中共（中国共産党）

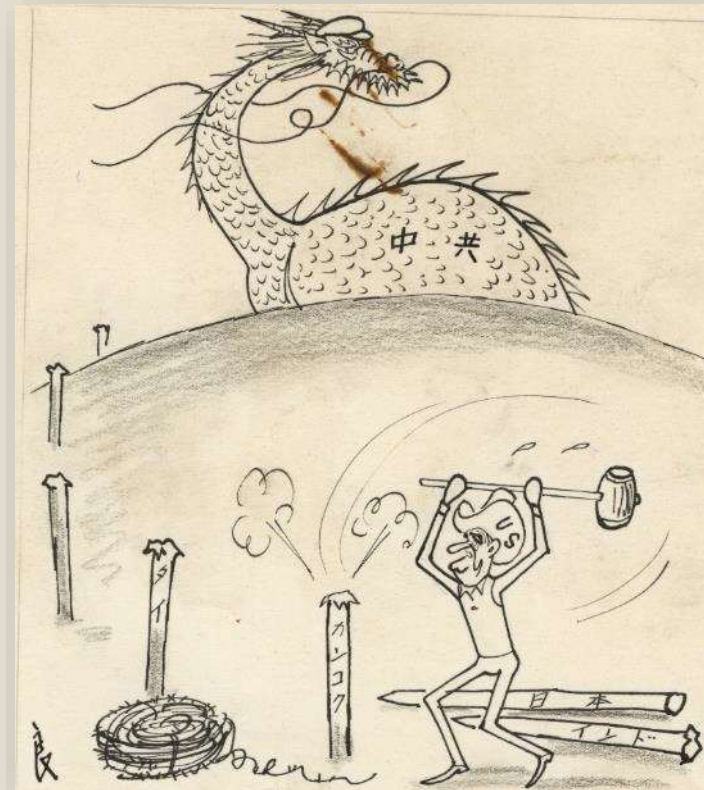
⇒1921年7月23日成立。

第二次世界大戦後、
1949年10月1日に「中華人民
共和国」の建国が北京で宣言
されました。

1966年から党主席の毛沢東主
導のもと「文化大革命」が開
始されると、国内外に大きく
混乱を及ぼします。

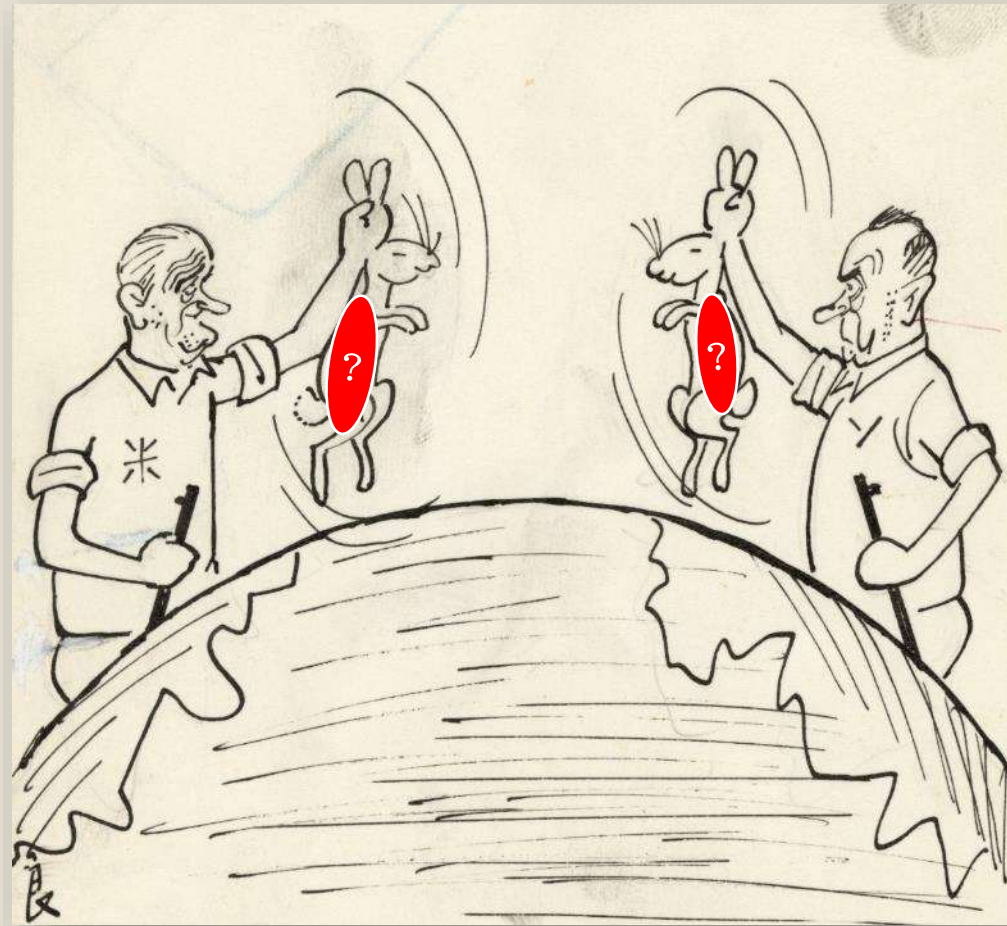


1966年 1月4日『毎日新聞（夕刊）』掲載
「すごい馬が待っている」



1966年 2月18日『毎日新聞（夕刊）』掲載
「クイが足りるか？」

Q: **?** に入る国名は、それぞれ何でしょう？



1968年 8月22日 『毎日新聞 (夕刊)』 掲載 「了解、了解」

Q: **?** に入る国名は、それぞれ何でしょう？

正解は..... 「ベトナム」 「チェコ」



⇒ アメリカのジョンソン大統領とソ連のコスイギン首相が、それぞれ捕らえたウサギを見せあっています。

アメリカが捕らえたウサギは「ベトナム」、ソ連が捕らえたウサギは「チェコ」。

ベトナム戦争にのめりこむアメリカと、経済活動の自由化を目指すチェコスロバキアへの軍事侵攻を8月に始めたソ連が、互いの力を誇示しあっている様子です。

1968年 8月22日 『毎日新聞（夕刊）』 掲載 「了解、了解」

【告知】 現在開催中の企画展

「ライブペインティング」作品展示

2023.12.16～ 湯前まんが美術館特別展示室

熊本県芦北町出身の漫画家、村枝賢一先生・森真理先生、崇城大学マンガ表現コースの学生らが制作した、長さ10メートル、高さ90cmの巨大な「ライブペインティング」作品を展示中。

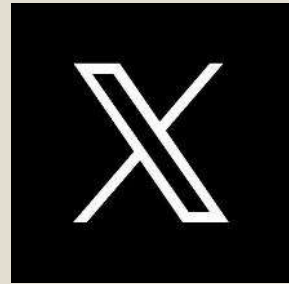
「水神様」「湯前町の象徴」として描かれた、見事な「登り龍・下り龍」のイラストが描かれています。



目次

1. 湯前まんが美術館と地域おこし協力隊について
2. 政治風刺漫画家・那須良輔の魅力
3. 「マンガかるた」で楽しく学ぼう！

ご清聴ありがとうございました



「湯前まんが美術館」

FOLLOW ME !!

@yunomae_manga